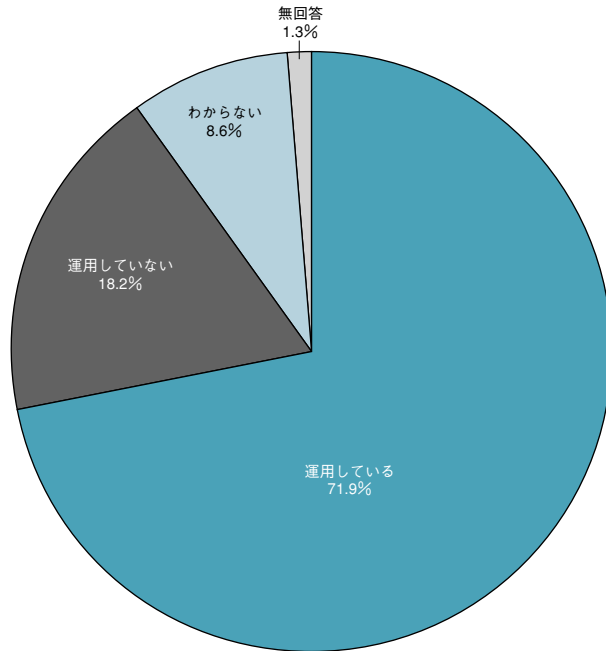


社内でのサーバー運用

社内でサーバーを運用している企業は71.9%

資料3-2-13 社内でのサーバー運用の有無 N=1,798

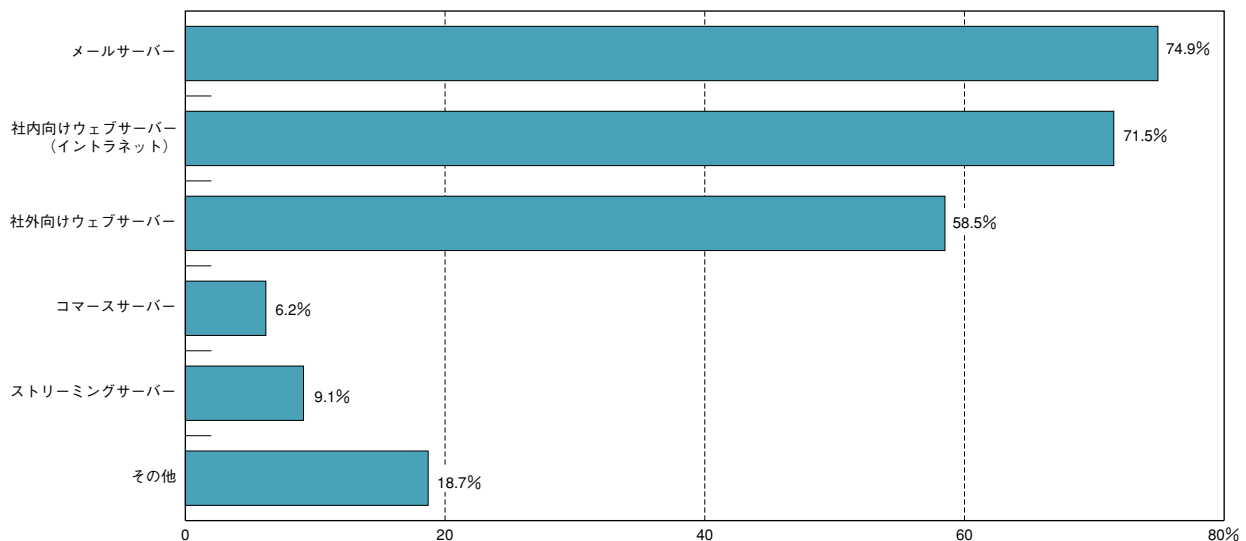


社内でのサーバー運用は、「運用している」が71.9%、「運用していない」が18.2%となり、多くのインターネット利用企業が何らかのサーバーを社内において運用していることがわかる。

©Access Media/impress,2003

社内サーバーの主な用途はメールとウェブ

資料3-2-14 社内で管理・運用しているサーバーの種類 N=1,292



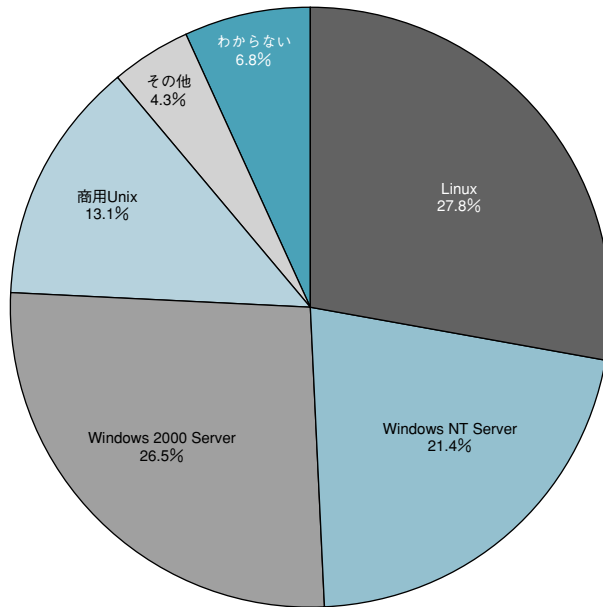
©Access Media/impress,2003

社内で運用されているサーバーの用途を見ると、最大がメールサーバーで74.9%、次いで社内向けウェブ（イントラネット）サーバーが71.5%、社外向けウェブサーバーが58.5%となる。メールとウェブ以外の用途のサーバーはあまりない。

社内でのサーバー運用

メールサーバー用OSではWindowsサーバーの利用が多い

資料3-2-15 社内管理・運用しているメールサーバーのOS N=968

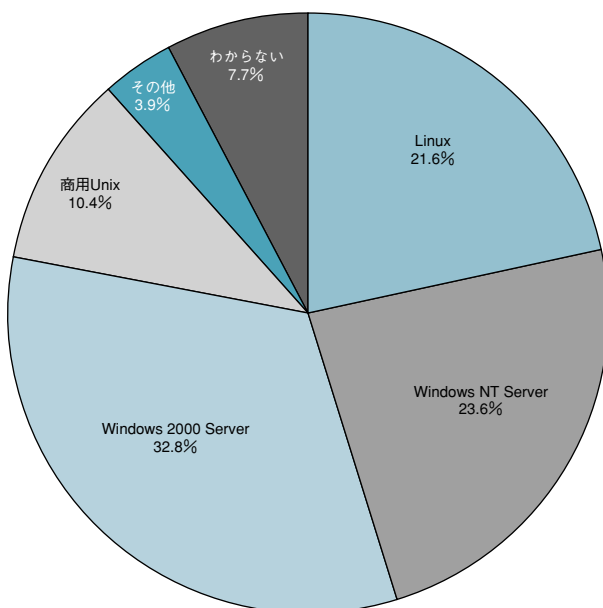


©Access Media/impress,2003

社内管理・運用されているメールサーバーのOSは、Linuxが27.8%で単独項目としては最大である。次いでWindows NT Server (21.4%)、Windows 2000 Server (26.5%)とWindows系サーバーがシェアを分ける形となっている

社内向けウェブサーバーのOSはWindows 2000 Serverが最多

資料3-2-16 社内管理・運用している社内向けウェブ（イントラネット）サーバーのOS N=924



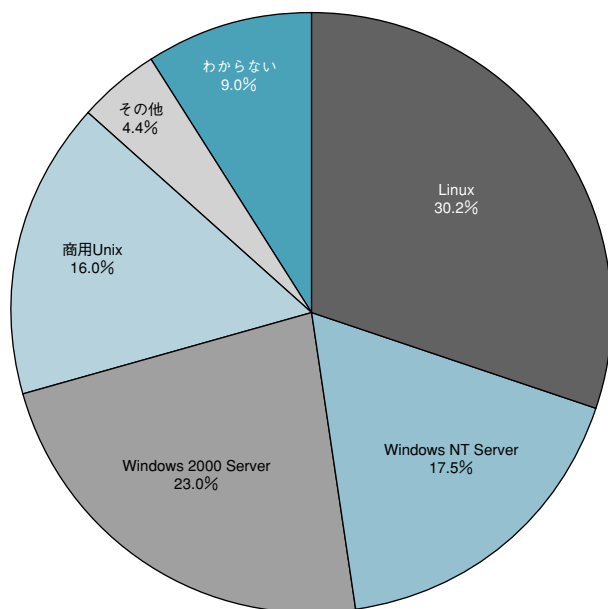
©Access Media/impress,2003

社内向けウェブサーバーのOSでは、Windows 2000 Serverが最多の32.8%、次いでWindows NT Serverの23.6%、Linuxの21.6%、商用Unixが10.4%と続く。

社内でのサーバー運用

社外向けウェブサーバーのOSではLinuxが30.2%

資料3-2-17 社内で管理している社外向けウェブサーバーのOS N=756

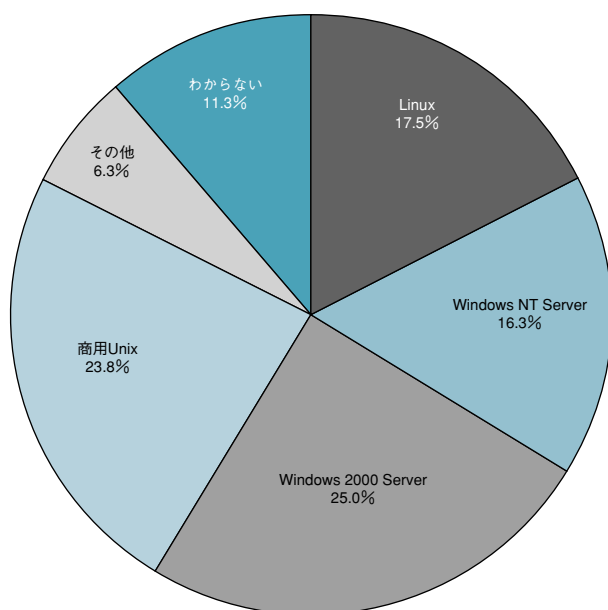


©Access Media/impress,2003

社外向けウェブサーバーではLinuxは30.2%、商用Unixは16.0%でいずれも社内向けウェブサーバーでの比率を大きく上回る。Windows 2000 Serverは23.0%、Windows NT Serverは17.5%である。

コマースサーバーでは商用Unixがまだ目立つ

資料3-2-18 社内で管理しているコマースサーバーのOS N=80



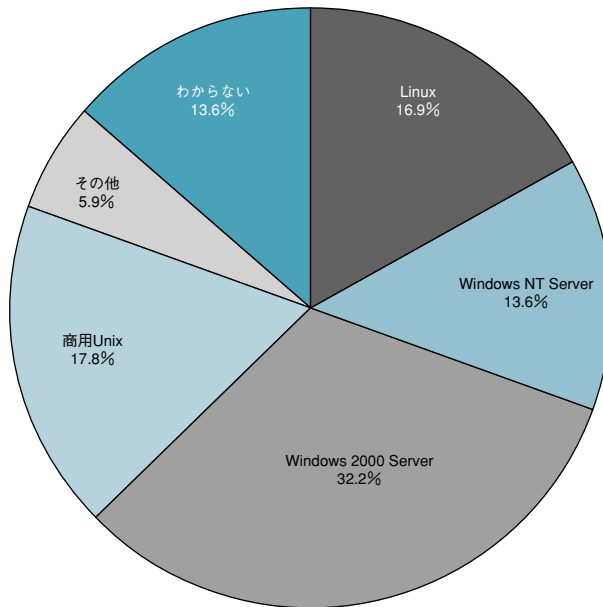
©Access Media/impress,2003

社内向けコマースサーバーのOSは、Windows 2000 Serverが25.0%、次いで商用Unixが23.8%となる。ほかの用途では10%台のシェアだった商用Unixのシェアが20%を超えている。

社内でのサーバー運用

ストリーミングサーバーはWindows 2000 Serverが32.2%

資料3-2-19 社内で管理しているストリーミングサーバーのOS N=118

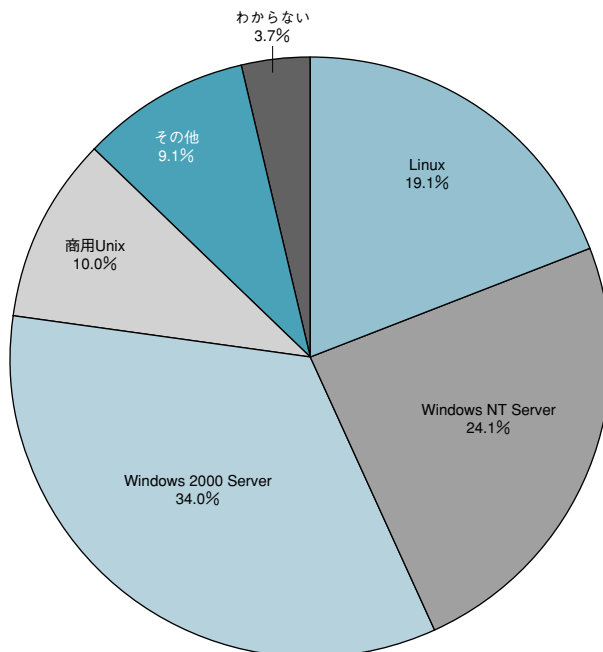


©Access Media/impress,2003

ストリーミングサーバーのOSは、Windows 2000 Serverが32.2%と大きなシェアを獲得している。次いで商用Unixの17.8%、Linuxの16.9%、Windows NT Serverの13.6%が続く。Windows 2000とIISのストリーミング機能強化の影響だと考えられる。

その他のサーバーでもWindows 2000 Serverが着実に普及

資料3-2-20 社内で管理しているその他のサーバーのOS N=241



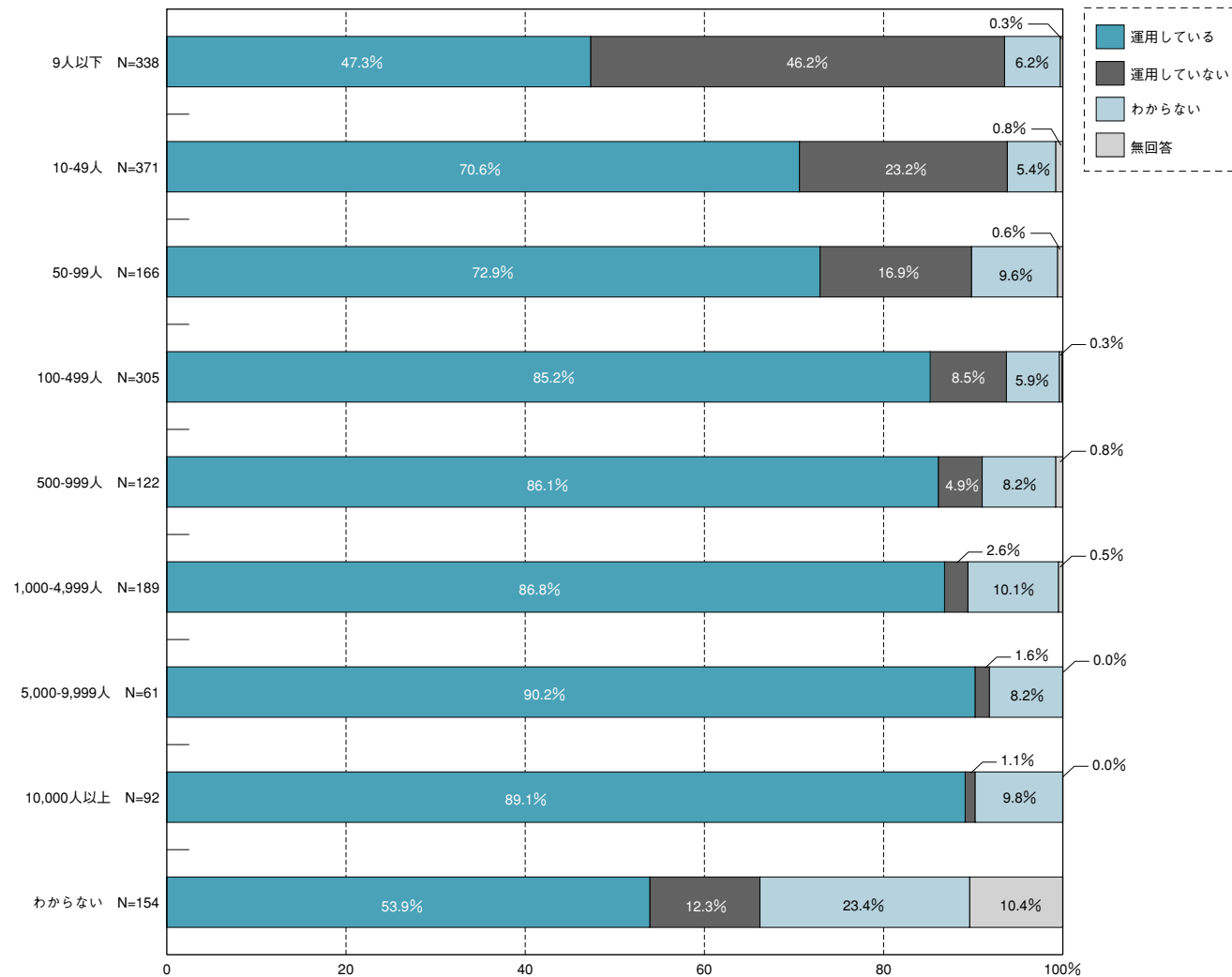
©Access Media/impress,2003

社内向けのその他のサーバーのOSを見ると、トップはWindows 2000 Serverの34.0%、次いでWindows NT Serverの24.1%、Linuxの19.1%、商用Unixの10.0%と続く。

社内でのサーバー運用

社内サーバーの運用率は大企業ほど高い

資3-2-21 従業員規模別 社内でのサーバー運用の有無 N=1,798



©Access Media/impress,2003

社内サーバーの運用の有無を従業員規模別に見ると、9人以下の企業では「運用している」が47.3%にとどまるが、規模が拡大するにつれて「運用している」率が高まり、5,000-9,999人では90%を超える。

日本の普及状況

個人の利用実態

企業の利用実態

海外の普及状況



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp